

令和元年度事業報告

令和元年度事業として「スキルアップ講座」を昨年度同様2回開催しました。併せて、「全国保健所管理栄養士会メーリングリストの運用」、「災害時における給食施設への栄養・食生活支援に関する実態調査」などの事業にも積極的に取り組むとともに資料や情報の提供を行いました。

また、会として、一般財団法人日本公衆衛生協会から「平成30年度地域保健総合推進事業」の指定を受けた研究会事業「大規模災害時における栄養・食生活支援活動の連携体制と人材育成に関する研究」（2年計画）に取り組みました。2年目であることから、前年度改定した「大規模災害時における栄養・食生活支援活動ガイドライン」を活用した「大規模災害時における栄養・食生活支援活動ワークショップ」を全国3カ所（岡山県、鹿児島県、東京都）で開催したほか、災害時に活用できる栄養・食生活に関するアクションカードを作成し、都道府県へ配付しました。

また、厚生労働省が設置した「これからの地域・職域連携推進の在り方に関する検討会」に参画し、「地域・職域連携推進ガイドライン」の改訂に協力しました。

さらに、厚生労働行政推進調査事業費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）「新旧（1980-2020年）のライフスタイルからみた国民代表集団大規模コホート研究：NIPPON DATA80/90/2010/2020」NIPPON DATA研究班にも参画しました。

その他、全国保健所長会など公衆衛生関係団体の代表で構成する「公衆衛生情報編集委員会」へ年6回出席し、公衆衛生分野における行政管理栄養士活動の普及啓発を行ったほか、日本公衆衛生学会「公衆衛生分野における行政管理栄養士のあり方委員会」の構成員として参画しました。

今後も引き続き、会員の情報共有のためのツール及びデータベースとしての機能を活かし、横断的なネットワークの形成並びに意見交換の場としての役割を担っていきたいと思っております。

令和元年度事業報告書

1 総会 令和元年8月31日(土)神戸学院大学ポートアイランドキャンパスにおいて開催

2 役員会 ①平成31年4月20日(土)東京八重洲ホール、
②令和元年9月1日(日)兵庫県民会館
③令和2年2月16日(日)東京八重洲ホール において開催

3 研修・調査研究事業等

(1)「全国保健所管理栄養士会スキルアップ講座」開催

ア 第1回

(ア) 開催日：令和元年8月31日(土)

(イ) 会場：神戸学院大学ポートアイランドキャンパス(兵庫県神戸市中央区港島1-1-3)

(ウ) 内容：a 情報提供1「大規模災害時における栄養・食生活支援活動に係る準備状況調査」
「都道府県調査結果について」

情報提供者 福島県南保健福祉事務所 専門栄養技師 積口順子 氏

b 情報提供2「市町村調査結果について」

情報提供者 京都府乙訓保健所 主査 大原直子 氏

c 講話「大規模災害時の栄養・食生活支援活動ガイドラインについて」

講師 熊本県水俣保健所 参事 久保彰子 氏

d 講演「行政栄養士の活動支援～応援団を有効活用～」

講師 国立健康・栄養研究所 室長 笠岡(坪山)宜代 氏

e グループワーク

テーマ「保健所栄養士が明日からでもできる取組みや体制づくりとは
～ガイドラインを踏まえて～」

コーディネーター 札幌保健医療大学 教授 千葉昌樹氏

助言者 国立健康・栄養研究所 室長 笠岡(坪山)宜代氏

(エ) 参加者：89名

イ 第2回

(ア) 開催日：令和2年2月15日(土)

(イ) 会場：東京家政学院大学(東京都千代田区三番町22)

(ウ) 内容：a 報告「保健所における災害時給食施設支援実態調査報告」

報告者 新潟県新津保健所 課長代理 磯部澄枝 氏

b 情報提供「大規模災害時の栄養・食生活支援活動に関するアクションカード」に
ついて

報告者 熊本県水俣保健所 参事 久保彰子 氏

- c ランチョンセミナー「望ましい行動変容を促すナッジとは？各自治体における保健活動の事例収集」

説明 女子栄養大学 栄養学部 准教授 林芙美 氏

- d 演習「災害対応事例から災害時栄養・食生活支援について考える」

講師 女子栄養大学 栄養学部 教授 武見ゆかり 氏

(エ) 参加者：95名

(2) 地域保健総合推進事業の実施

- ・「大規模災害時における栄養・食生活支援活動の連携体制と人材育成に関する研究」研究班会議の開催

令和元年6月21日、8月9日、10月23日、12月20日、令和2年2月16日、3月2日

計6回実施

- ・「大規模災害時の栄養・食生活支援活動ワークショップ」の実施

①岡山会場

(ア) 開催日：令和元年11月18日（月）

(イ) 会場：オルガホール

(ウ) 内容：

【第1部】

a 開会

b 主催者挨拶 日本公衆衛生協会 理事長 松谷有希雄（代理：若井友美）

c 来賓挨拶 岡山県保健福祉部健康推進課 課長 山野井尚美 氏

d 報告「大規模災害時の栄養・食生活支援活動に係る準備状況調査結果について」

報告者 京都府乙訓保健所 大原直子 氏

e 説明「大規模災害時の栄養・食生活支援活動ガイドラインについて」

説明者 熊本県水俣保健所 久保彰子 氏

f 情報提供「大規模災害時の栄養・食生活支援活動に関するアクションカードについて」

情報提供者 熊本県水俣保健所 久保彰子 氏

g 意見交換「明日からでもできる平常時の取組や体制について」

進行 岡山県備北保健所 焰硝岩政樹 氏

【第2部】

「災害対応事例から災害時栄養・食生活支援活動について考える」

講師 女子栄養大学栄養学部 教授 武見ゆかり 氏

(1) ケースメソッドについて

(2) ケースメソッドを用いた演習

(エ) 参加者：午前84名、午後76名

②鹿児島会場

(ア) 開催日：令和2年1月24日（金）

(イ) 会場：かごしま県民交流センター

(ウ) 内 容 :

【第1部】

- a 開 会
- b 主催者挨拶 日本公衆衛生協会 理事長 松谷有希雄 氏 (代理:若井友美 氏)
- c 報告「大規模災害時の栄養・食生活支援活動に係る準備状況調査結果について」
報告者 岡山県備北保健所 焔硝岩政樹 氏
- d 説明「大規模災害時の栄養・食生活支援活動ガイドラインについて」
説明者 熊本県水俣保健所 久保彰子 氏
- e 情報提供「大規模災害時の栄養・食生活支援活動に関するアクションカードについて」
情報提供者 熊本県水俣保健所 久保彰子 氏
- f 意見交換「明日からでもできる平常時の取組や体制について」
進行 岡山県備北保健所 焔硝岩政樹 氏

【第2部】

「災害対応事例から災害時栄養・食生活支援活動について考える」

講師 女子栄養大学栄養学部 教授 武見ゆかり 氏

- (1) ケースメソッドについて
- (2) ケースメソッドを用いた演習

(エ) 参加者: 午前 65 名、午後 57 名

③東京会場

(ア) 開催日: 令和2年2月17日 (月)

(イ) 会 場: 東京家政学院大学

(ウ) 内 容 :

【第1部】

- a 開 会
- b 主催者挨拶 日本公衆衛生協会 理事長 松谷有希雄 氏
- c 来賓挨拶 厚生労働省健康局健康課栄養指導室 室長 清野富久江 氏
- d 報告「大規模災害時の栄養・食生活支援活動に係る準備状況調査結果について」
報告者 京都府乙訓保健所 大原直子 氏
- e 説明「大規模災害時の栄養・食生活支援活動ガイドラインについて」
説明者 熊本県水俣保健所 久保彰子 氏
- f 情報提供「大規模災害時の栄養・食生活支援活動に関するアクションカードについて」
情報提供者 熊本県水俣保健所 久保彰子 氏
- g 意見交換「明日からでもできる平常時の取組や体制について」
進行 岡山県備北保健所 焔硝岩政樹 氏

【第2部】

「災害対応事例から災害時栄養・食生活支援活動について考える」

講師 女子栄養大学栄養学部 教授 武見ゆかり 氏

- (1) ケースメソッドについて

(2) ケースメソッドを用いた演習

(エ) 参加者：午前 134 名、午後 123 名

(3) 調査研究事業

「災害時における給食施設への栄養・食生活支援に関する実態調査」

目的 保健所における給食施設に対する災害への備えに関する支援の実態を把握し、平常時及び災害発生時における給食施設支援に関する保健所の役割を検討

期間 令和元年 10 月～11 月

対象 保健所（都道府県、政令市、中核市、特別区）の特定給食施設等指導事業を担当している管理栄養士

方法 (1) 都道府県型保健所

都道府県庁を通じて、メールで調査票・回答票を送信して保健所へ依頼した。

(2) 政令市・中核市及び特別区

郵送で調査依頼を行い、全国保健所管理栄養士会ホームページから回答票のダウンロードを依頼した。

内容 給食施設に対する①自助（平常時）、②共助、③公助別の支援状況

結果 調査結果の概要は、速報値として第 2 回スキルアップ講座内で報告した。

4 広報活動

ア 全国保健所管理栄養士会メーリングリストの管理・運営

イ ホームページの管理・運営

5 「公衆衛生情報編集委員会」への参画（東京都） 6 回

6 「これからの地域・職域連携推進の在り方に関する検討会」への参画（東京都）

| 回 | 開催日 | 内容 |
|-----|-------------------------|--|
| 1 | 平成 31 年 3 月 14 日 (木) | 本検討会について 地域・職域連携推進事業の現状と課題 |
| 2 | 平成 31 年 4 月 18 日 (木) | 地域・職域連携における現状と課題 本検討会における論点 |
| 3 | 令和元年 5 月 30 日 (木) | 地域・職域連携における現状と課題について 本検討会における論点について |
| 打合せ | 令和元年 6 月 12 日 (水) | 地域・職域連携推進事業ガイドライン改訂に係る打合会 ・地域・職域連携推進ガイドラインの改訂骨子(案)について |
| 4 | 令和元年 7 月 1 日 (月) | 地域・職域連携推進ガイドラインの改訂骨子(案)について これからの地域・職域連携推進の在り方に関する検討会報告書 骨子(案)について |
| 5 | 令和元年 8 月 5 日 (月) | 地域・職域連携推進ガイドラインの改訂について これからの地域・職域連携推進の在り方に関する検討会報告書 (案)について |
| 会議 | 令和元年 10 月 4 日 (金) | 令和元年度地域・職域連携推進関係者会議 |

7 「令和元年度 NIPPON DATA 研究班 第3回班会議」への参画

(ア) 開催日 令和2年1月30日(木)

(イ) 場 所 慶応義塾大学三田キャンパス

(ウ) 内 容 a 概要説明

循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業「新旧(1980-2020年)のライフスタイルからみた国民代表集団大規模コホート研究:NIPPON DATA80/90/2010/2020」について

b ブロック担当者・地区担当者への依頼内容説明

c ブロック毎に分かれて議論

d 総合討議